

心豊かな暮らし

矢橋の家

VOL.53
WINTER 2019

縁
EN



心豊かな暮らし
矢橋の家

- 4. 庭を眺め、心和む癒しの時間
- 8. 心豊かな暮らしをつくるもの「伊賀焼 土楽窯」
- 12. 矢橋の家 新商品「開化」洋風平屋モデルハウス開発中！
建築予定地 レジデンス東前
- 14. 矢橋の分譲住宅 レジデンス昼飯
- 15. 展示場・ショールーム紹介

VOL.53 WINTER 2019

縁

表紙 赤坂お茶屋敷跡 雪景色
左. I 様邸 リビングから和室を見る 右. 砂利と石、樹木が豊かな I 様邸の和庭



庭を眺め、心と癒しの時間

大垣市 I様邸

職場がある愛知県から、実家近くである大垣に移住されたI様は、ご主人と奥様とのふたり暮らしです。電車通勤のため、駅の近く到新居を構えられました。「大垣駅は始発の電車も多く、職場まで乗り換えなく行けるので便利です。家の周りは静かで、住み良い環境です」とご主人。

共働きで時間に追われる日々の中で、家に帰り、庭を眺めてやすらぐ時間と、食事やお酒を楽しむ時間を大切にされています。お酒が好きなご主人は、お気に入りのぐい呑みを片手に、ライトアップした夜の庭を眺めながら一献。1日の疲れがほぐれる、心地よい時間。

I様邸の家具や設えは、リビングに敷かれたギャッベや、床の間には四季折々の掛け軸など、小物ひとつひとつにこだわりが感じられます。「ほとんどの小物は、新しく揃えたものです。住まいが良くなると、その雰囲気にあった良いものを揃えたくなくなってしまい、今はそれを選ぶのが楽しいです」とI様。

取材にお伺いした際には、奥様のお母様も同席されており、「母が作ったパズルをピクチャーレールにかけて飾っています。この家に作品を飾ることが、母にとっても生きがいになっています」と奥様が話されるお隣で、お母様も満面の笑み。

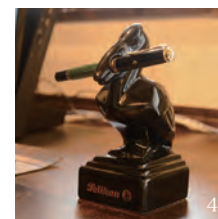
1. 庭と一体となっているリビング。夕食はリビングにローテーブルを置き、庭を眺めながら味わう。一角の書斎の窓からも良い景色が。
2. 玄関に飾られている「かちかち山」の香炉。お香をたくと、背の焚き木の上部から煙があがります。
3. 「見ざる聞かざる言わざる」のポーズをしたカエルの置物も愛らしい。
4. 調印式の記念品としてお贈りしている万年筆をお気に召され、もう一本購入。ご夫婦おそろいで1本ずつ。ペリカン社オリジナルのペンスタンドのくちばしが、万年筆を銜えています。



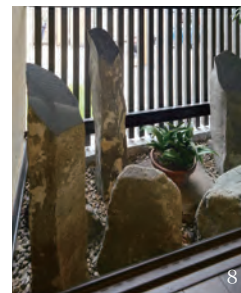
2



3



4



落ち着きのある和の雰囲気大切に「和（なごみ）」シリーズの平屋建て住宅。回遊できる間取りは、ひとつひとつの空間がゆったりしています。玄関ホールの中には坪庭が。まるで旅館を訪れたように、ここを癒す雰囲気を醸し出しています。

I様邸にお伺いすると、まず目に入るのが美しく整ったお庭です。お住まいいただいてからも、榎の木やクロチクを増やし、メダカの水槽を設置されたり、I様らしいお庭づくりを楽しんでいらっしゃいます。「今まではアパート暮らしのため、庭を持つことは初めてで

すが、家や庭が出来上がっていく様子を見て、新居での生活がさらに楽しくなりました」と笑うおふたり。庭の手入れが楽しく、ご主人はなんと庭園管理士の資格を取得されました！

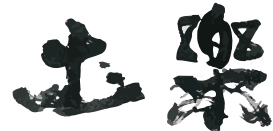
「剪定時期や樹木の種類など新しいことを学ぶのが楽しく、庭専門の担当者から聞いた話と、自分が学んだ知識が一致。これからは自分で管理できそうだと自信が持てました」とご主人。四季の移ろいを楽しめる和庭が、I様ご夫婦の手によって、これからも豊かに成長していくことを楽しみにしております。



の間と雪見障子がある本格和室。庭と和室の間の広縁は日向ぼっこにも最適。5. 寝室のベッドカバーはウィリアム・モリスの「いちご泥棒」柄。6. ゆったりした玄関ホール。7. 苔と石の庭は雨の日も美しい。8. 玄関ホールの先にある坪庭は、六方石を立て石庭に。9. ご主人が設置した水槽にもメダカが。10. 美しい苔のそばにはカエルもやってくる。11. 庭管理の専門家（社員）による剪定のレクチャーを熱心に聞くご夫婦。12. 平屋建ての外観。



伊賀焼 土楽窯 どちら



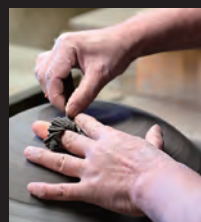
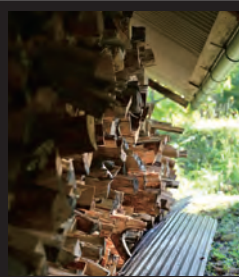
土楽窯は、三重県・伊賀に八代続く伊賀焼の窯元です。そのひとつひとつが、ろくろと職人の手による手作り。昔ながらの田園風景が広がる伊賀の里同様、温もりのある素朴で自然な風合いを持ち、月日を重ねるごとに、それぞれに微妙に異なる表情を見せていくのが特徴です。



古くは奈良の時代から、焼物の里として名を馳せてきた伊賀丸柱では、今も残る自然に守られるように、時の流れはゆっくり。



四季折々の景色と広々とした空が彩るなか、土楽窯の職人たちは今日もろくろに向かい、土とじっくり語り合いながら作品に取り組んでいます。



土薫る趣をたたえ、豊かな表情を見せる器。土鍋、茶器、酒器、碗、皿などさまざまな商品をつくっています。ぜひとも皆様の暮らしを彩る器として、どうぞお使いください。



土楽窯 三重県伊賀市丸柱 1043
https://www.doraku-gama.com
ギャラリー 11:00 ~ 17:00 (要予約) TEL. 0595-44-1012

土鍋は使うほどに魅力が出てくる道具です。

ほんの少しコツを覚えると、土鍋のおいしさにはまります。土鍋は年中使える、いにしえより伝わりし、優秀な調理道具なのです。その土鍋を、秋冬の数回で終わらせては、それはとてももったいないこと。それに、土鍋は器にだってなれる、ただの調理器具では収まらない、有能さも兼ね備えているのです。

『ひとり小鍋』福森道歩・著(東京書籍・刊)より 撮影＝竹内章雄



伊賀焼窯元 土楽 7代目 福森 雅武さん (写真左)

陶芸家。伊賀焼の里として知られる、三重県伊賀市丸柱の窯元「土楽」の7代目当主。伝統的な手びねりろくろによって作られる陶器(特に黒鍋)は、政治・文化・芸能など各界の著名人から長年高い評価を受ける。また、「よく喰らいよく飲みよく笑いよく眠り」がモットー。伊賀の山里の四季折々の花や木々を愛で、コメ・野菜を半自給し、川魚・山菜・キノコなど、自然の恵みを大らかに楽しむ生活を送る。

伊賀焼窯元 土楽 8代目 福森 道歩さん (写真右)

陶芸家、料理人。三重県の伊賀・丸柱に江戸時代より続く窯元「土楽」の8代目。短大卒業後、料理研究家のもとで3年、辻調理師専門学校で1年、大徳寺龍光院にて禅寺での生活を1年経験するなど、さまざまな食の在り方を追求。自身の穴窯で花器や茶器、器を作陶し、素材を生かす器作りを目指す。

書籍紹介

著者 福森 雅武さん



春夏秋冬、福森雅武の毎日をつづったアルバムのような一冊に仕上がりました。ページを繰るごとに、福森家を訪れて一緒に飲んだり食べたり笑ったり…そんな感覚になっていたかと思えます。



自らの作品をはじめ、福森雅武が様々な花器と四季の花々を合わせ、独自の世界を構築しています。土楽窯のある、伊賀丸柱の自然あふれる景色をお楽しみください。



「土楽」を守る福森家の毎日をつづったアルバムのような一冊に仕上がりました。ページを繰るごとに、福森家を訪れて一緒に飲んだり食べたり笑ったり…そんな感覚になっていたかと思えます。

著者 福森 道歩さん



土鍋を作っているからこそ伝えたい、土鍋調理の極意。鍋物だけでなく、炒める、煮る、焼く、蒸すと土鍋は一年中さまざまな使い方の道具です。柔らかい熱のめぐりはふだんの料理を驚くほど美味にします。



土鍋でできる、あんなことやこんなこと。少しのコツをマスターするだけで、料理の幅がぐんと広がります。ごはん炊きや煮込みはもちろん、アヒージョ、アクアパッツァ、ローストチキンまで驚きのおいしさ。



「手頃な小さい土鍋があると、ひとりのごはんがこんなに楽しく豊かになるんですね。鍋でもあり器でもある土鍋使いを余すところなく教えてくれるこの本、道歩ファンの私としては、嬉しい一冊です」有元菓子



土楽の土鍋ができるまで

どのように作られているのか。土楽さんの工房におじゃまして、土鍋ができるまでを見させていただきました。



1. 粘土を練る

土鍋には、伊賀から出土する粘土を使用しています。成形しやすい粘土と耐火性の高い粘土を機械でブレンドして混ぜ合わせたものを、手で解きほぐすように練ります。(菊練り)



4. 乾かす

室内で2～3日間、日かげで1～2日間乾かした後は、天日で十分に乾燥させます。同時に作っている蓋なども乾燥させています。よく乾いたら、1回目の焼成「素焼き」をします。



2. 成形

職人さんが、手でひとつひとつ成形します。ろくろをまわして手びねりでつくっていますが、熟練した技術がないと、土鍋のかたちが崩れてしまったりするそうです。



5. 釉薬をつける

福森雅武さんが配合した釉薬(ゆうやく)をもとに、濃度をきっちりと計ってブレンドし、ひとつずつ釉掛けします。釉薬は陶器の表面のガラス状になっている部分です。



3. 削る

1～2日乾燥させて削れるちょうど良いかたさになったら、ろくろをまわして、鍋底を削る作業をします。削っている富田さんは大きな鍋をひくことができます。数少ない職人さんです。



6. 焼成

土鍋を窯詰めし、約1,200度の温度で20時間ほどかけて焼き上げます。その後、1日半掛けてゆっくり冷まして、焼成完了です。黒い釉薬の美しい土鍋ができました。



土鍋暮らしのはじめ方

土鍋を育てましょう。土鍋は温まるまでは時間がかかりますが、一度温まったら冷めにくいという性質を持っています。ゆっくり時間をかけて熱を全体に行き渡らせてから、じわじわと加熱するため、肉や魚、野菜などの材料の持ち味を引き出し、柔らかくまろやかな味に仕上げます。そんな土楽の土鍋は、使い込むことで温まりやすく、保温性・耐熱性が高くなります。陶器でできている土鍋はもろく欠けやすく、急激な温度変化にも弱いデリケートなもののですが、使い込むことで魅力が増す土鍋を、日々の暮らしの中で大切に使い込むことで、長い間使用できる土鍋に育てていくことができます。

初めて使う前にすること

お粥を炊く

土鍋を使い始める前に、まずはお粥を炊きます。土鍋には貫入や気泡などが全体に入っているため、これを米のでんぷんで埋めて水漏れを防ぐため。お粥を炊いたら丸1日おき、お粥を捨てて土鍋をきれいに洗い、水気を拭いて裏返して乾燥させます。



土鍋に米大さじ1を入れ、土鍋の8～9分目くらいまで水を加えて弱火にかける。

5分ほどしたら中火にし、沸騰したら再び弱火にし、しゃもじでときどき混ぜながら1時間ほど炊く。

透明な米が白く炊けてとろりとしたら、火を止めてそのまま丸1日おく。

知っておきたいこと

基本の火加減を覚える



土鍋は冷えた状態でいきなり強火にかけると割れる原因になったり、材料に上手に火が通らないこともあります。ゆっくりと熱を行き渡らせながら調理するので、弱火～弱めの中火から徐々に温めていきましょう。



土鍋は使ううちに自然とひびが入ってきます。土鍋の素地にあいているたくさんの小さな穴が、熱を加えることによって膨張し、冷めることによって収縮するからです。使えば使うほど使いやすくなっていく証のようなものです。

焦がしたとき



うっかり焦がしてしまったら、土鍋に水を入れ、レモンを切っただけで弱めの中火にかけ、沸騰して数分したら湯とレモンを捨てて洗います。それでも取れないときは、硬めのスポンジ、スプーンの先などを使って軽くこすり落とします。

カビがついたとき



土鍋にカビがついていた…そんなときは、まずは洗ってカビを落として拭き、水かぬるま湯を入れて弱めの中火にかけ、熱湯の状態でも10分ほど火にかけ、熱湯消毒します。水気を拭いて裏返して乾燥させます。

『ひとり小鍋』福森道歩・著(東京書籍・刊)より 撮影＝竹内章雄

日々愛用され、空気のようにいつもそこにある。ゆっくりと時間が流れ、その時間を吸収し表情をかえていく。器は前に出ず、後ろに下がらず使えば料理と共に引きたてあう。矢橋工房 銀座店では、土楽窯の商品を多数取り扱っております。



漆

矢橋工房

商品のお問い合わせ先
TEL.03-3561-8972
(矢橋工房 銀座店)



KAIKA MODEL HOUSE

洋風平屋モデルハウス開発中！



※開発中のイメージ画像

建設予定地



レジデンス東前

RESIDENCE HIGASHIMAE

うるわ

麗しき住環境の創造 Residence Policy

「心豊かな暮らし」への第一歩は、安心・安全、かつ美しい風景があり、ここから住んでみたいと思っていられるような場所を創造することです。

遠くから我が家を見ると、緑の木々に囲まれた一つの邸宅 (Residence) のように見える街。そこにお住まいになる方々は「心豊かなコミュニティ」が自然と醸成されていく、そんな「麗しき住環境」を提供していきたいと考えております。

四季の移ろいを感じる街並み

一邸一邸の庭が、季節ごとに楽しめる植栽、食べられる実のなる木などでつくられており、庭がつながり、四季の移ろいを感じる心地よい街並みとなる

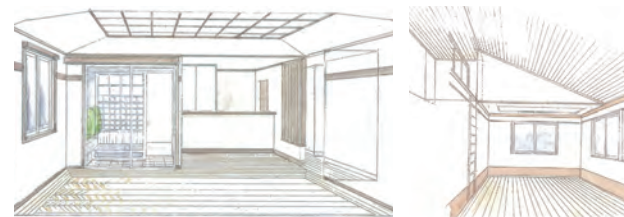
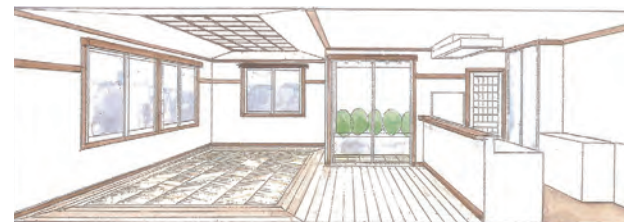


ゆるやかなカーブの道

道がゆるやかにカーブしているため、スピードが出しにくく抜け道にもなりにくい安全



※区画図に表記した建物・車等はイメージです



IMAGE

設計 早川正夫建築設計事務所

つながるコミュニケーション

視界が広がり、ご近所同士コミュニケーションが取り易い動線を確保。つながりが感じられ、円を描くようなコミュニティがうまれる

街の中心にある 緑あふれる公園

みんなが集まる憩いの場



一年を通して美しいお庭

春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬の木立。アプローチの花壇には季節を彩る草花たち…一邸ずつお庭のカレンダーを作成し、季節毎に変化する美しいお庭をご提案している



矢橋の街に注文住宅を

注文住宅用土地 (建築条件付)

物件名	敷地面積	物件名	敷地面積
東前2	200.00㎡(60.50坪)	東前11	225.98㎡(68.35坪)
東前4	199.01㎡(60.20坪)	東前12	212.26㎡(64.20坪)
東前6	150.87㎡(45.63坪)	東前15	170.63㎡(51.61坪)
東前7	151.38㎡(45.79坪)	東前16	194.81㎡(58.93坪)
東前9	222.24㎡(67.22坪)	東前17	172.75㎡(52.25坪)
東前10	245.99㎡(74.41坪)	土地購入の場合、1年以内に「矢橋の家」を建築していただくことが条件となります。	

物件概要

RESIDENCE HIGASHIMAE

(レジデンス東前) ●岐阜県大垣市東前2丁目●開発面積／4,206.93㎡●交通／JR 東海道線 大垣駅 約3,000m ●総区画数／17区画●今回販売区画数／12区画●敷地面積／150.87㎡～245.99㎡●販売価格／1,203万円～●用途地域／第1種中高層住居専用地域●地目／宅地●建ぺい率／60%●容積率／200%●道路幅員／6m ●水道／公営上水道●排水／公営下水道●ガス／大垣ガス●電気／中部電力●取引形態／売主●開発許可番号／大垣指令開29第1535号

矢橋の分譲住宅



心豊かな暮らし
RESIDENCE HIRUI

昼飯
I

落ち着いた空間でくつろげる平屋

敷地面積 228.03㎡ (68.97 坪)
施工面積 123.39㎡ (37.32 坪)
1F 床面積 104.34㎡ (31.56 坪)

和
NAGOMI
Ver 平屋建て

新築特価付
スーパーロング構造体

2LDK | 駐車2台可能
インナーガレージ
書斎 | 畳コーナー
リビング勾配天井無垢板張り



- ◆BELS最高等級取得
- ◆長期優良住宅
- ◆耐震等級3
- ◆床暖房

矢橋オリジナル無垢フローリング
Nagomi

Rd
RESIDENCE HIRUI

麗しき住環境の創造



物件概要 ●岐阜県大垣市屋敷町字東町田419番1～●開発面積 / 1922.8㎡ ●総区画数 / 7区画 ●今回販売区画数 / 4区画 (内戸建2戸)
●敷地面積 / 196.49㎡～228.03㎡ ●建物面積 / 104.34㎡～135.25㎡ ●販売価格 (戸建分譲税込) / 3,270万円～3,530万円・(注文建築用地) / 890万円 ●用途地域 / 第1種住居地域 ●地目 / 宅地 ●建ぺい率 / 60%・70% ●容積率 / 200% ●道路幅員 / 6m ●水道 / 公営上水道 ●排水 / 公営下水道 ●ガス / 個別プロパン ●電気 / 中部電力 ●建築確認番号 / 確認サービス第 KS116-0410-50905 他 ●構造 / 木造軸組金物工法 ●取引形態 / 売主 ●戸建完成年月 / I : 2017.4・IV : 2017.8

物件情報はこちら>>



見学予約はこちら>>



岐阜県大垣市屋敷町420

※現地周辺までのご案内になります



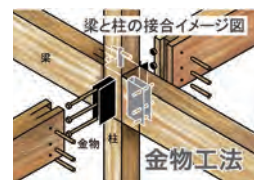
矢橋の家は全部 長期優良住宅

矢橋の分譲住宅は、注文住宅と同等の性能を有しています。耐久性の高い建物であることはもちろん、各種の税制優遇などのメリットを受けることができます。

災害時の支援拠点となる建物
(消防や警察)と同じ耐震性能
耐震等級3



安全・安心の構造体「木造軸組金物工法」



接合部の断面欠損が少ないことで、とても強い構造体になります。金物を使用するため強度があり、また工場で金物を取付けるため、確実に取付けることができます。

「矢橋の家」展示場・ショールーム

大垣展示場



RESIDENCE 昼飯

〒503-2216 岐阜県大垣市屋敷町420



「悠楽」モデルハウス

〒503-0034 岐阜県大垣市荒尾町1524-95



名古屋ショールーム

「三豊居」にて、初の「矢橋工房展」を開催します！



矢橋工房展

2019年12月1日(日)～12月14日(土)
10:00 - 18:00 会期中無休



漆
矢橋工房



さんぽうきょ 千460-0003 愛知県名古屋市中区錦2丁目5番31
「三豊居」 長者町相互ビル1F (グルマンの向かい) TEL. 052-870-9290

営業時間 10:00 - 18:00 定休日 水・木曜日(年末年始・お盆)

地下鉄 東山線・鶴舞線「伏見駅」1番出口より徒歩約5分
鶴舞線・桜通線「丸の内駅」5番出口より徒歩約3分



矢橋のリノベーション

使い心地を良くするキッチンや浴室などの

小さなリフォーム から

新たな付加価値を付け家を蘇らせる

フルリノベーション まで

Renovation 甦



矢橋林業株式会社

YABASHI 岐阜県不破郡垂井町表佐 410-1 / Tel. 0584-22-0001
品質マネジメントシステムの国際規格である ISO9001 認定取得企業
宅地建物取引業免許番号：岐阜県知事 (13) 第1306号 岐阜県宅地建物取引業協会会員
建築業許可番号：国土交通大臣許可 (般-20) 第26337号 東海不動産公正取引協議会加盟



0120-884-039

www.yabashi.co.jp/house/

矢橋の家



Instagram

@yabashinoie



心豊かな暮らし
矢橋の家